



「庫裡 お内仏」

真宗大谷派

# 願興寺だより

第 91 号

2025年（令和7年）

1月1日発行

発行者

願興寺

長岡市関原町1丁目1019

〒940-2035

TEL 0258-46-2316

FAX 0258-46-7499

<https://gankouji.org/>



謹んで新春のお祝詞を

申し上げます

令和七年元旦

## 巻頭言

### 非戦を生きた僧侶たち

願興寺衆徒 太田修

明治維新の悪政策「排仏毀釈」は浄土真宗の僧たちの力によって廃止することができたが、「国家神道」の力は日清戦争、日露戦争、第一次大戦、第二次大戦の原動力となって戦争を止めることができなかった。この戦争で日本だけでも数百万人、全世界でも数億人の被害者を出した。

（原爆は広島・長崎で一瞬のうちに三十万人の人々が殺された。）  
その中でも真宗の僧侶の数人は、キリスト教の牧師と同様に、自らの立場で「非戦」を訴えた。国民が開戦の祝いをやっている中、非戦の立場を貫いて、人々に非国民、弾圧の嵐に耐えていた。明治四〇年代和歌山の高木顕明師（新宮浄泉寺）は日露戦争後の戦争記念碑、忠魂碑の建立に反対し、非戦の立場を貫いた。一九一四年秋田監獄で自死した。竹中彰元（大垣教区明泉寺出身）は日中戦争が（昭和十二年）に始まって出征兵士たちに「戦争は罪悪である」「沢山の人命を損し悲惨のきわみである」と呼びかけた。結果禁固四ヶ月、執行猶予三年の有罪となった。ところが、二人に対して真宗大谷派宗門も布教師の資格を剥奪した。戦後五十年にして教団処分を取り消した。教団も間違っこともある。



報告

# 永代経法要

恒例の永代経法要が十一月十日に勤まりました。当日は素晴らしい秋晴れの日になり、約五十名の方がお参りをされました。



法話は柏崎市吉井の受徳寺住職である井上正師よりお話をいただきました。

井上師は法話の中で「クジラの肉で精進料理を作る」という禅宗の言葉を紹介されま

した。そもそも精進料理とは肉などを使わないで作る料理ですから、クジラ肉で精進料理を作ることにはできないと思いますが、それが私たちの思い込みであると。クジラ肉をそのまま調理するのではなく、それを売ってそのお金で野菜を買えば精進料理を作ることができる。つまりクジラ肉をそのまま使わなければならぬという思いにとらわれていた。それは私たちが思い込んで離さない姿を表したお話でした。

そのような私たちの姿を教えてくださいいただくのが法話をお聞きすることであり、その場所を支え、護ってこられた多くの方々のご苦勞に感謝させていただきます。永代経法要であったということを改めて教えていただきました。

報告

# 秋季彼岸法要・永代供養墓合同法要

去る九月二十二日に秋季彼岸、並びに永代供養墓合同法要が勤まりました。

最初に永代供養墓の前で合同法要が勤まりましたが、あいにくの雨となり、傘をさしながらのお勤めとなりました。その後は本堂にて秋季彼岸法要が勤まり、約四十名もの方々からお焼香、お参りをいただきました。



恒例となりましたミニコンサートでは、ピアノとベース、そしてトランペットによるジャズの演奏でした。昨年は爽やかな陽気の中でのフルートの演奏でしたが、今年は雨天の中、本堂の中でしっとりとしたジャズの音色で楽しませていただきました。

恒例となりましたミニコンサートでは、ピアノとベース、そしてトランペットによるジャズの演奏でした。昨年は爽やかな陽気の中でのフルートの演奏でしたが、今年は雨天の中、本堂の中でしっとりとしたジャズの音色で楽しませていただきました。



# 二〇二五年 春季彼岸法要・ 帰敬式ご案内

恒例の春季彼岸法要が左記の通り、勤まります。また法名をいただく帰敬式も同日に行われます。お誘い合わせの上、お参りいただきませう。ご案内申し上げます。

午前九時半	受付
午前十時	法要
午前十時半	帰敬式
午前十一時	法話
正午	お齋
(昼食)	

\*お持ち帰りができるお弁当をご用意しております。



## ◇帰敬式募集要項

真宗門徒の名告りである法名をいただく帰敬式はどなたでも受式することが出来ます。法名をいただき、新たな人生の出发点となるご縁にしたいだけだと思います。

「開催日時」  
三月二十三日(日)  
午前十時半頃

「申し込み」  
三月十五日までに願興寺へお申し込み下さい。

「受式料」  
一万円(本山への登録料、  
記念品代含む)

\*受式料は帰敬式当日にお持ち下さい。

## 「初めての ヨガ教室」 ご案内



毎月一回ヨガ教室を開催しています。初めて参加の方も、そうでない方も皆さんと一緒に出来る範囲で楽しめる教室です。

毎回ヨガの最後に瞑想の時間があるのですが、参加者皆さんが直近一か月間で楽しかったことを順番に聴く時間があります。「おいしいお店に行ってきた」や「家族旅行の話」など、皆さんの話を聴いているだけで幸せな気持ちになります。

教室後のお茶タイムも賑やかでとても楽しいひと時です。し、ヨガで体もポカポカして気分もすっきりです。

寒くなりなかなか体を動かすのが億劫になってくる時期ですが、どなたでも無理なく

参加できる教室ですので遠慮なくご参加ください。ご心配な方は見学できますのでお待ちしております。

- 二〇二五年予定
- ・一月二十一日(火)
  - ・二月十八日(火)
  - ・三月二十五日(火)
  - ・四月二十二日(火)
  - ・五月十三日(火)
  - ・六月十七日(火)
  - ・七月十五日(火)
- ★時間 十三時三十分から
- ★会場 願興寺庫裏
- ★参加費 五〇〇円
- ★持ち物 タオル



## 法話コーナー

## 『仏説無量寿経』について 26

## 《原文》

仏、弥勒菩薩・もろもろの天人等に告げたまわく、無量寿国の声聞・菩薩、功德・智慧称説すべからず。またその国土は微妙・安樂にして清浄なることかくのごとし。何ぞ力めて善をなして、道の自然なることを念いて、上下なく洞達して辺際なきことを著さざらん。宜しくおのの勤めて精進して、努力自らこれを求むべし。必ず超絶して去ることを得て、安養国に往生せよ。横に五悪趣を截りて、悪趣自然に閉じん。道に昇ること窮極なし。往き易くして人なし。その国逆違せず。自然の牽くところなり。何ぞ世事を棄てて勤行して道徳を求めざらん。極長生を獲べし。寿樂極まりあることなし。

## 《現代語訳》

【お釈迦様は、弥勒菩薩、およびもろもろの天人などにお告げにられた。「無量寿国の声聞や菩薩の功德と智慧は、言葉によって称えることができないほどである。また、その国土も、この上なく立派で安樂であり、清らかなことも、それと同じである。

どうして、人々は努力して善を修め、そのことによって当然、きとりが起こることを思わないのであろうか。きとりには上下の区別なく、どこにも行き渡っているのに、限りがないきとりを実現しないのであろうか。それぞれに努力して、たゆまずに自らこれを求めるがよい。必ず迷いを越えきって、安養国に往生しなさい。そうすれば、ただちに五悪趣を断ち切つて、悪趣への道は自然に閉じられるであろう。極まりない道に昇ることになるであろう。その国には往生しやすいのだが、往生する人はまれである。その国は

どのような者も逆らい違うことはない。自然に誰もが導かれるのである。

どうして世間のことをひかえて、努力して道の徳を求めないのであろうか。極まりない生命が得られるのである。無量寿の樂を受けるのである。】

今回は「釋尊の勸誡」というところですが、まず原則として如来の浄土とはこういうものである、衆生の往生とはこうであると筋書きを明確にした上で、「お釈迦様は我々に対してどういうことを勧めておられるのか」という内容が説かれていきます。

## 「弥勒菩薩」

お釈迦様が亡くなられた後に次に仏に成られると期待されている菩薩が弥勒菩薩です。兜率天といわれる天上世界で仏に成るための最後の仕上げ

の修行中であり、五十六億七千万年後に我々の世界に下つて仏に成ると言われる菩薩です。ここではこれまでの仏弟子の阿難に代わり、ここからは弥勒菩薩が聞き手の代表になります。

## 「無量寿国の声聞・菩薩、智慧・功德称説すべからず」

「無量寿国」とは阿弥陀如来の極樂浄土であります。「声聞」とは阿羅漢になることを目標としている仏弟子のことで阿羅漢とは完全に煩惱をなくした人のことをいいます。

「菩薩」は仏に成つてすべての人々を導くことを目標にしている仏弟子です。阿弥陀如来の浄土にいる声聞や菩薩の功德や智慧は言葉によって表現できないほど優れているというわけです。

「その国土は微妙・安樂にして清浄なることかくのこし」

「微妙」はとてもすぐれて  
いるという意味で「びみょう」とは意味が異なります。つまり阿弥陀如来の浄土はとてもすぐれていて清らかであると。

「横に五悪趣を截りて、惡趣自然に閉じん」

横とは段階を経てゆかない。「五悪趣」とは地獄・餓鬼・畜生・人・天という五つの状況ですね。そういう具体的な場所が実在するということではありません。我々が日常的に経験している迷いの状態を五つに分けているわけです。つまりそのような迷いの世界へ向かう道はなくなるんだと言っておられるわけです。



「往易くして人なし」

これは大変に有名な言葉です。阿弥陀如来の浄土は往生しやすいのだが、往生する人は稀である。阿弥陀如来の願いによって本来はたやすく往生できるはずであるのに、現実には阿弥陀如来の願いに順わず自力にこだわるために往生できる人はいないということです。ですからその願いに任せられるのか、任せられないのか、ということが分かれ道になりますね。それが浄土の教えの一番大事な点なんです。

阿弥陀如来がたすけようとされている願いをありがたく受け止められるのか、あるいは受け止めないで自分なりの考えで何かをやるうとするのか。そこが他力と自力の違いなんです。

古田和弘師 講述  
『仏説無量寿経』より抜粋

# おくやみ

令和六年七月〜令和六年十二月

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

七月七日 北園町 九月十八日 関原町

田村マツエ 九十六歳 片桐好昭 七十一歳

七月二十六日 関原町 九月二十四日 宮栄

藤塚清吾 九十六歳 清水テル 八十八歳

八月九日 大島新町 十月十七日 雨池

丸山正夫 九十五歳 佐藤静 九十八歳

八月十二日 下山 十月十九日 大積町

桜沢政隆 七十一歳 高野夕ヶ 九十歳

八月二十八日 与板町 十一月三日 関原西町

倉品ヒサイ 九十七歳 丸山輝秋 七十九歳

八月二十五日 西蔵王 十一月二十四日 寿

嘉瀬政則 六十九歳 稲川茂 九十三歳

九月二日 大積高島 十一月二十六日 上除

丸山登喜雄 九十五歳 荒木キミ 九十六歳

九月三日 関原町 十二月七日 大島

小山榮一 八十五歳 片桐光平 九十六歳

九月十三日 関原町 十二月八日 要町

佐藤紀代子 七十九歳 高野實 九十二歳

丸山テル 九十二歳

十二月十五日 柏崎市

## 仏事一口メモ

### 法事の勤め方

コロナの影響も収まり、寄り合う場も元に戻りつつあります。法事もまた亡き人を縁として普段会えない人たちと顔を合わすことができる大切な場です。今回はその法事の勤め方についてお伝えします。

#### ①年忌札が届いたら

願興寺では新年を迎えるにご身内の年忌を記した年忌札をお送りしております。年忌札が届きましたら、ご家族、ご親族で法事についてご相談下さい。相談のポイントとして、

- 日程の相談
- 法事を自宅で勤めるのか、お寺で勤めるのか。
- お斎（食事）をどうするか。

日程については皆さんがお参りできる日をお選び下さい。よく「故人の命日の過ぎるのは良くない」と言われますが、それは迷信であって、大切なことは御縁に向き合い仏事を勤めることです。

#### ②お寺と日程を相談する

法事をされる希望の日時をお電話にてご相談下さい。またお寺で法事をされる場合はお参りに来られる人数もお伝え下さい。

#### ③準備について

法事の際に必要なものは次の通りです。

#### ◇お寺の本堂で勤める法事

- ・朱ろうそく（三〇号二本）
  - ・花束（一束）
  - ・お供物（十四個洋菓子可）
  - ・果物など（必要であれば）
- ※花束、お供物などはお寺で手配することもできます。（費用は七千円から）

◇お寺から本尊をお迎えし、自宅で勤める法事

- ・床の間に乗る大きさの机
  - ・朱ろうそく（三〇号二本）
  - ・花束（一束もしくは二束）
  - ・お供物（十四個洋菓子可）
  - ・果物など（必要であれば）
- ※仏具はお寺が用意します。

◇自宅のお内仏（仏壇）で勤める法事

- ・朱ろうそく
- ・花束（一束もしくは二束）
- ※お内仏の仏具の大きさに合ったものをご用意下さい。
- ・お供物（十四個洋菓子可）
- ・果物など（必要であれば）

#### ④お斎（食事）について

お斎とは仏法讃嘆の仏事であり、亡き人を縁として集まった方々と語り合う大切な時間でもあります。

最近ではお寺の本堂で法事を勤めた後に、みんなで庫裏

にてお斎をいただく場合もあります。料理、お弁当などの手配や近くの料理屋さんの紹介などできますので、お気軽にご相談下さい。

#### ⑤包みものについて

お寺へのお包みものは「御仏前」と「御布施」の二種類をご用意下さい。熨斗は黄白を用います。必要であれば「御斎料」、「お車代」など用意されることもあります。

法事は単なる先祖供養ではありません。浄土真宗における法事の意義は報恩感謝のおつとめというところにあります。亡くなられた方々の深いご恩に思いをはせて、ご縁のある方々とともに法事を勤めていただければとても有り難いことです。

## 下半期行事報告

2024年7月～2024年12月

- 7月9日 初めてのヨガ教室  
お経会①
- 10日 東京盆参り（～11日）
- 16日 清掃奉仕
- 21日 第6回役員会
- 23日 お経会②
- 28日 盆参講師 永寶 卓師
- 8月1日 盆参講師 佐々木恵一郎師
- 6日 お経会③
- 7日 盆参講師 今泉温資師
- 13日 盂蘭盆会
- 20日 墓地清掃（お墓片づけ）
- 22日 お経会④
- 29日 初めてのヨガ教室
- 9月3日 お経会⑤
- 10日 初めてのヨガ教室
- 13日 法中講
- 17日 お経会⑥
- 21日 清掃奉仕
- 22日 秋季彼岸・永代供養墓合同法要
- 10月1日 お経会⑦
- 15日 お経会⑧
- 29日 お経会⑨
- 11月9日 清掃奉仕
- 10日 永代経法要 講師 井上正師
- 12日 初めてのヨガ教室  
お経会⑩
- 12月8日 第7回役員会
- 10日 初めてのヨガ教室
- 22日 大掃除
- 31日 除夜の鐘

## 上半期行事予定

2025年1月～2025年6月

- 1月1日 修正会
- 2日 年頭法会
- 4日 寺年始
- 21日 初めてのヨガ教室
- 2月2日 前坊守祥月命日
- 9日 会計監査・第1回役員会
- 18日 初めてのヨガ教室
- 3月9日 新旧世話方会議
- 23日 春季彼岸法要・帰敬式
- 25日 初めてのヨガ教室
- 4月20日 清掃奉仕
- 22日 初めてのヨガ教室
- 下旬 第2回役員会
- 5月13日 初めてのヨガ教室
- 18日 清掃奉仕
- 25日 お取越報恩講（～26日）
- 29日 前坊守祥月命日
- 6月15日 清掃奉仕
- 17日 初めてのヨガ教室
- 22日 願興寺お茶会



## 清掃奉仕の参加者大募集

令和7年

お寺の環境美化のために清掃奉仕活動をしています。

天気が良いれば境内の草取りや掃き掃除、天気が悪ければ庫裏や本堂の掃除をします。

昨年は少しずつ参加者も増え有意義な活動ができています。お掃除が得意な方もそうでない方も、皆さんのご協力をお願いいたします。

### 〔日程〕

- ・ 四月二十日 (日)
- ・ 五月十八日 (日)
- ・ 六月十五日 (日)
- ・ 七月二十一日 (月) 祝日

### 〔時間〕

午前十時から十一時まで



## 墓地管理部から のお願い

前回の願興寺だよりでガラズ瓶の花入れは極力ご遠慮いただきたいと案内しましたが、非常に少なくなり管理しやすくなりました。ご協力ありがとうございます。

冬期間の本堂脇の水道使用についてのお願いです。水道管の凍結による破損を防ぐため冬期間（十一月～三月末頃）まで水道の蛇口を撤去させていただきますこととしました。この期間は水道の使用ができなくなりますので、ご不便をおかけいたしますが、ご理解ください。

また例年の事ですが、ゴミ箱についても降雪前に墓地の休憩所へ移動します。ご注意ください。

## 編集後記



昨年の十一月十二日に約二十年間続けてきた「お経会」が幕を閉じました。熊本から長岡に戻って間もない頃、前住職から勧められて始めたのがきっかけでした。当初はまだ檀家の方々の顔も覚えてたで、どんな人に声を掛けたらいいのか、またどのように教えたらいいのかからず、試行錯誤でした。

それでも、私の拙い教え方にもかかわらず、参加者の方々の優しさによって支えていただき、二十年間続けることができました。そして未熟である私をお育ていただいた大切な場所でもありました。本当に感謝の気持ちしかありません。「お経会」での経験は私にとって大切な宝物としてこれからも大事にしていきます。

編集委員 高橋深恵